

コンプライアンスの パイオニア養成プログラム の紹介

平成28年9月15日

桐蔭横浜大学大学院法務研究科長

蒲 俊 郎

本学が掲げるハイブリッド法曹教育

社会経験の中で
培った専門知識



桐蔭法科大学院
で学ぶ法律知識



融合

難解な問題に対処できる

真のスペシャリスト

ハイブリッド法曹

ハイブリッド法曹とコンプライアンス教育



目標

ハイブリッド法曹の養成



実践

学修成果基盤型教育



成果

**コンプライアンスの第一線等
で活躍する修了生を多数輩出
(司法試験合格者65名)**

実業界で活躍する修了生

越後純子さん



金沢大学附属病院経営企画部副部長（金沢大学特任准教授）
日本初の国立大学附属病院の院内弁護士に！

現在は虎ノ門病院において、組織内弁護士として活躍

- 筑波大学大学院 医学研究科修了（医学博士）
- 医師として勤務を続けながら通学

中村孝子さん



株式会社ディーツーコミュニ
ケーションズ・企業内弁
護士

- 慶応義塾大学法学部卒業
- NTTドコモ入社

杉田義明さん



損害保険ジャパン日本
興亜株式会社法務部・
企業内弁護士

- 東京大学法学部卒業
- 安田火災海上保険株式
会社入社（現 損害保険
ジャパン日本興亜株式会社）

実業界で活躍する修了生

中田千寿さん



医療機器メーカー・企業内弁護士

- 慶応義塾大学総合政策学部卒業
- 専業主婦

高橋周さん



大手監査法人・組織内弁護士

- 慶応義塾大学法学部政治学科卒
- 金融庁から大手監査法人へ

寺東宏城さん



野村証券株式会社・企業内弁護士

- 一般企業（オリックス株式会社）に勤務しながら通学、野村証券株式会社入社



社会におけるコンプライアンスの重要性の高まり

2015年に起きた企業不祥事

3月	東洋ゴム	免震ゴム基準不足
6月	トヨタ自動車	役員のマリファナ取締法違反容疑
7月	東芝	不適切会計
10月	旭化成	マンション杭打ち工事不正



企業不祥事が起こる背景にはその企業の
コンプライアンス体制に問題がある場合も

高まるコンプライアンスの重要性

時代の要請を受け、新たな取り組みを開始

- ✓ 桐蔭法科大学院のこれまでの実績
- ✓ 社会におけるコンプライアンスの重要性



本年度より職域拡大に向け
コンプライアンスのパイオニア
養成プログラムの提供を開始



文部科学省による本プログラムの評価結果

平成28年度 法科大学院 公的支援見直し強化・加算プログラム 審査結果

平成27年12月25日
文部科学省
高等教育局 専門教育課



地域貢献、新たな職域への就職支援②

地域や新たな職域で活躍する法曹養成の充実

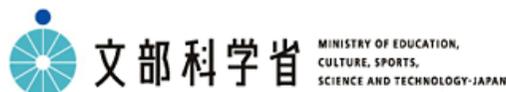
桐蔭横浜大学

職域拡大に向けた“コンプライアンスのパイオニア
養成”プログラム

コンプライアンス関連科目群のパッケージングを行うとともに、桐蔭コンプライアンス・リサーチ教育センターを創設し、企業等のリーガルニーズも取り込みながら教育内容を刷新し、コンプライアンスのパイオニアを養成

優れた取組

との判定結果



プログラムの概要

コンプライアンス領域における 研究と教育のポジティブ・サイクルの構築

桐蔭CREC

コンプライアンス関連
→ 最先端の研究活動
→ 社会への情報発信

独自カリキュラム

コンプライアンス関連科目群のパッケージングによる独自のカリキュラム

研究結果のカリキュラムへの反映など



Compliance



学生や教員の参加（有志）

独自カリキュラムのイメージ①

コンプライアンス 関連科目

国際刑事司法

会社関係訴訟論

インターネットの法律実務

コンピュータ犯罪

現代弁護士論

倒産処理法（再建型）

企業コンプライアンス

労働紛争処理

医療と法

企業法務

経済法の実務

弁護士の将来像

企業会計

法実務文書の作成

雇用と法

倒産処理法（清算型）

経済法の基礎

ジェンダーと法

情報法

金融業務と法

租税争訟

弁護士の民事責任

法曹倫理

知的財産法

企業犯罪とコンプライアンス

特許権侵害訴訟の実務

債権回収法

著作権法

税制と法

パッケージング



独自カリキュラムのイメージ②

科目群のパッケージングによる独自のカリキュラム

経済法

経済法の基礎

経済法の実務

知財

著作権法

知的財産法

特許権侵害訴訟の実務

ICT

情報法

コンピュータ犯罪

インターネットの法律実務

雇用・税務

雇用と法

租税争訟

税制と法

労働紛争処理

金融・企業再建

金融業務と法

企業会計

債権回収法

倒産処理法（清算型）

倒産処理法（再建型）

企業法務

会社関係訴訟論

国際刑事司法

企業コンプライアンス

ジェンダーと法

企業犯罪とコンプライアンス

企業法務

弁護士業務

法曹倫理

弁護士の民事責任

弁護士の将来像

現代弁護士論

法実務文書の作成

桐蔭コンプライアンス・リサーチ教育センター

桐蔭 CREC

Toin Compliance Research Education Center

センター長



久保利 英明 教授

コンプライアンス・ガバナンスの第一人者

活動内容

双方向的参加型活動を行う

有志の学生と教員の協働による

・最先端の研究活動 ・社会への情報発信

コンプライアンスのパイオニア

法曹隣接
職関係

医療
福祉関係

不動産
建設関係

一般企業

公務員等

その他

法律以外の多様なバックグラウンドを持つ学生



 桐蔭法科大学院
Toin Law School

コンプライアンスのパイオニア
養成プログラムを受講



修了生

各分野において
コンプライアンス体制の確立に寄与
できるハイブリッド法曹として活躍

第1回シンポジウム（設立記念）

2016年(平成28年)3月27日(日曜日)



意見を交わすパネリスト

「**桐蔭横浜法科大学院** コンプライアンス教育プログラム紹介」
港区と横浜市青葉区にキャンパスがある桐蔭横浜法科大学院で新年度、「桐蔭コンプライアンス・リーダー教育センター」が設立されることになり、青葉区のキャンパスで26日、記念シンポジウムが行われた。同センターは、社会におけるコンプライアンス（法令順守）の重要性を踏まえ、その研究・教育、実践支援を行い、パイオニア養成を推進していくことが狙い。シンポジウムには企業の法務担当者ら約50人が参加。センターの教育プログラ

ムの紹介などが行われた後、大学院の教授陣らによるパネルディスカッションも行われた。登壇した大学院の卒業生で虎の門病院医療安全部の組織内弁護士・越後純子氏は「現場に納得してもらうためには法的知識と現場の知識の両方を兼ね備えることが重要」と述べた。

メディアにも
取りあげられて
話題に！



シ

ン

ポ

ジ

ウ

ム

定期開催予定

今後も、定期的にコンプライアンスに関わる
シンポジウムを開催して、**社 会 に 発 信**
していく予定ですので 是非皆さん、今後も
参加を宜しく申し上げます！！